

受験記



文学部生はいかにして受験を乗り越えたのか…？
学生に聞いてみました！

Q 市大文を目指そうと思つたきっかけ

ま..自宅からの通学距離です。自宅から通える範囲の大学に通うのと下宿をして大学に通うのとでは通学にかかる費用は大きく変わります。また、自宅から通うにしても通学時間によつては大きな負担になり得ます。例えば、大阪市立大学では1限目の開始時刻が午前8時55分なので、通学距離によつてはかなり朝早くから家を出ることを強いられます。最近は新型コロナウイルスの影響によってオンライン授業も増えましたが、やはり大学への通学距離は大学を決める上での重要な点になります。最近はオンライン授業も増えましたが、自分が許容できる通学距離を確認し、自分が許容できる通学距離について事前に考えておくことをおすすめします。

な..もともと国際関係に興味を持つており、歴史問題に起因する現在の国際問題について、ニュース等で報じられるものを他人の言葉ではなく、自分自身の言葉で知りたいと考えていました。特に東アジアの分野を学びたいと思い、世界史コースや

Q おすすめの勉強方法

ま..自分でできる勉強と学校や塾に頼る勉強を分けるということです。例えば、英単語や古文書の勉強は学校では教えてくれませんし、最終的に覚えるのは自分自身です。一方で、現代文の読解や数学の問題など自分ではどうやっても解き方がわからないものもあると思います。そのような問題の解き方は学校や塾に頼ったほうがいいです。特に進学校や進学塾の先生方はそのような難しい問題の扱いになれているので少しでもわからぬなと思う問題があれば積極的に質問しに行くことをおすすめします。

Q 受験期の息抜きやモチベーションを維持する方法

ま..自身に休息することは大切だと思います。その日の勉強計画をたてる際に、それぞれに大体どのくらいの時間がかかるのか予想できると思いますが、その時間より短い制限時間を設定します。特に後期入試のような長

い記述問題は1問ごとに制限時間を設けて時間を計りながら解くことで、集中しやすくなり時間感覚が養えます。模試や本番と似た環境を作ることができます。タイマーではなく試験会場に持つていく腕時計を使うことで、模試や本番と似た環境を作ることができます。ほかに後期入試の対策としては、現代文の記述問題を解く際に下書きの習慣をつけたことが役立ちました。入試当日は解答用紙のほかに下書き用紙が配布されます。いきなり解答用紙に書き出すのは修正が困難なため得策とは言えません。簡単なもので構わないのですが、大まかな主張、接続詞、文末表現などの文章の構成を書いておき、それとともに解答を組み立てるようになります。これは前期・後期の記述入試だけでなく、共通テストの選択問題にも通用する考え方方が身につきます。



自身の気持ちは受験の結果に作用すると思います。皆様が志望校に合格することをお祈りします。

前期合格
まさだ ゆうと
政田夢叶さん
(文中では「ま」)

志望校を決めるのは大変なことだと思います。ほんやりとでも公大文学部に通うイメージがわけば、志望するのに十分ではないでしょうか。

後期合格
なるお すず
成尾珠々さん
(文中では「な」)

